

# CT検査を受けられる方へ

★この用紙はご自身で保管し、検査当日にお持ちください★

## 検査の有用性

命にかかわる重大な病気や高度のケガを治療する上で、からだの中をより詳細に知ることはとても重要なことからCT検査が行われます。診療用X線を利用するため被ばく（医療被ばく）があります。検査は被ばくの不利益よりも診断の有益性の方が上回ると判断したときに実施されます。

## 医療被ばくの影響

医療被ばくには、皮膚の潰瘍や白内障のような一定の線量をこえないと生じない組織反応（確定的リスク）と癌化や遺伝子（DNA）などに影響を及ぼすような線量の増加に伴い生じる確率が高くなる確率的影響があります。前者は、X線量を抑えることで防ぐことができます。後者は、低線量領域において今日まで確認されていません。放射線によって傷ついた細胞はからだの修復機能により修復されるため、これらの障害が起こることは少ないと考えられています。

## 放射線防護の最適化

検査の目的、年齢、体格、撮影範囲、部位などにより被ばくの差は生じますが、当院では、最新の被ばく低減技術を活用しながら、CT装置の出力設定が標準線量と同等以下になるように最適化を図っています。

部位/線量	当院線量		標準線量 <sup>※1</sup>	
	DLP(mGy)	CTDIvol(mGy・cm)	DLP(mGy)	CTDIvol(mGy・cm)
頭部	1310	63	1350	85
胸部	456	13	550	15
胸-骨盤部	821	12	1300	18
腹-骨盤部	800	17	1000	20
肝臓 <sup>※2</sup>	1233	11	1800	15
冠動脈	1080	59	1400	90

※1 標準線量とはDRL s 2015の基準線量で、成人体重50～70kgにおけるCT検査における平均的な線量です。

※2 肝臓CTでは、非造影時と造影時の動脈相、門脈相を観察する3回撮影です。

## CT検査に関する同意

東京高輪病院院長 殿

紹介元医療機関名

説明医師

私は、CT検査に関する説明書に基づき、上記の医師から十分な説明を受けるとともに、質問する機会を得たことで、予定されている検査について理解しました。よって、今回の検査を受けることに同意いたします。

記入日 年 月 日

検査予定日 年 月 日

患者番号

患者氏名

代理人氏名

(続柄: )

※ご不明な点がございましたら連携室または放射線科へご連絡ください。TEL (03) 3443-9191(代)